

全国母子・父子自立支援員研修会

こどもの未来を創る親として ひとり親支援を考える

一般社団法人 日本シングルマザー支援協会
代表理事 江成道子

●こんなシングルマザーが相談にきたら、どうしますか？

母親 37歳 保険会社で働く 収入 15万 家賃12万
5人の娘(16歳、13歳、10歳、6歳、4歳)を連れて2度目の離婚

最近2度目の離婚をし、夫が出て行っただので家賃が高いまま
働く意欲は高いと本人は言っている。

●あるシングルマザーのヒストリー

2005年 5人の娘(16歳、13歳、10歳、6歳、4歳)を連れて2度目の離婚
(37歳) 神奈川県横浜市にて生命保険会社で働く

収入15万、家賃12万で生活困窮

区役所に相談に行ったところ生活保護を勧められたが、働く意欲は高いので拒否して帰る
収入の高い仕事である営業職を求めて転職していくが、子育てとの両立は困難なことも多かった

2007年 家賃の安い相模原市に転居し末子が小学生に。保育園の送り迎えが終了したのを機に都内で働く
(39歳) メーカー勤務、初めての職種に転職。「会社に必要な人になる」を自分に課す。
年収も450万までアップし、生活が安定する

2013年 日本シングルマザー支援協会を設立し独立。
(45歳)

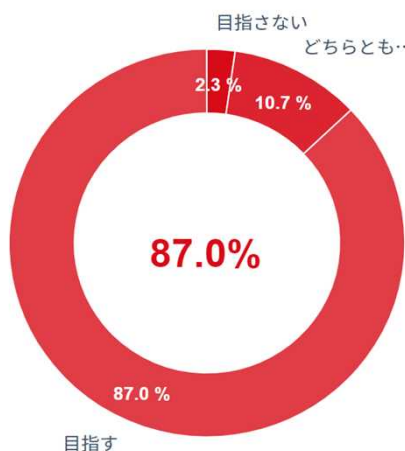
《生活を安定させることができた理由》

- 生活費以上の収入を得ることを意識した仕事選び
- 営業職を選択したこと
- 子どもたちを自立させながら育てることができた

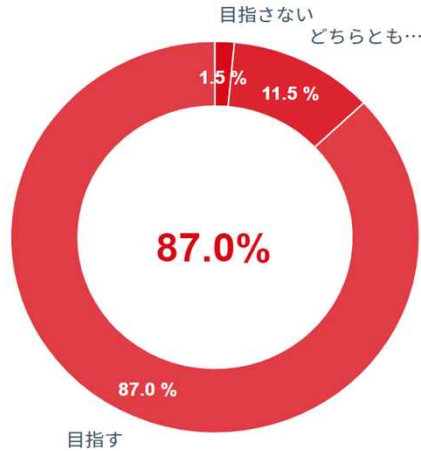


●74%は「自立を目指す」のは当たり前だと思っています

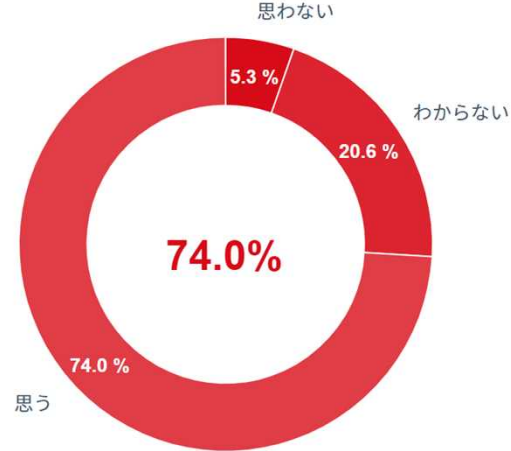
あなたは「自分のために」自立した社会人を目指しますか？



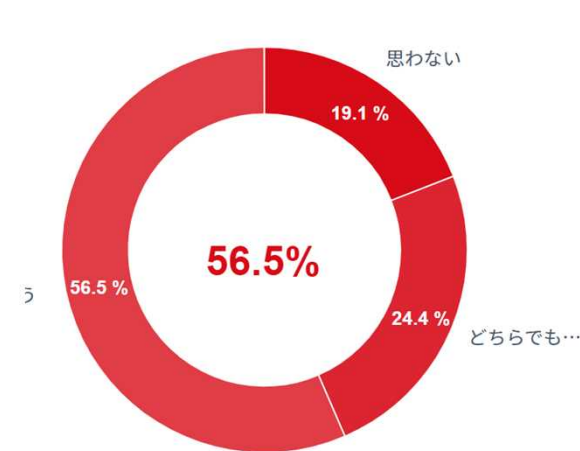
あなたは「子どものために」自立した社会人を目指しますか？



あなたは「自立を目指す」のは当たり前だと思いますか？



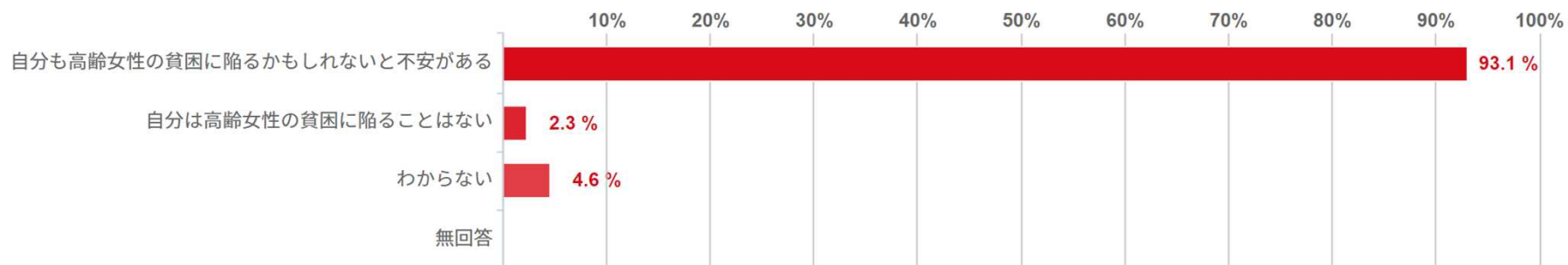
あなたは自立を目指すのは「難しい」と思いますか？



日本シングルマザー支援協会調べ 131名回答

●93%が高齢貧困女性に陥る不安を抱えています

高齢女性の貧困が急増しています。この原因は現役時代にパートや専業主婦だった人に多いというデータは既にあります。そのことを踏まえ、女性の現役時代の働き方の改善が急がれています。あなたは、老後が不安になりますか？



日本シングルマザー支援協会調べ 131名回答

●一番働き盛りの私たちにはしっかり働き納税を期待して

働くために希望すれば保育所に子供を入れられること。

兄弟が同じ保育所に入れること。

保育サービスの整備。よだれかけ、布団カバーや備品を都度親が用意し、セットしなければならないのは負担。園の備品として購入し業者に洗濯に出すなどして欲しい。記名の必要もなく、個々の返却バックに名前を確認しながら返す手間もないので保育士も管理しやすいと思う。

またPTAの親の活動を無くして欲しい。

子供の健やかな教育環境のために必要な活動であるならば、きちんと行政で予算を組み外注するべきだと思います。

予算をかけられないこと、自分の子供のためと言われるのは分かりますが、**一番働き盛りの私たちにはしっかり働き納税を期待するのが国にとっても良い事なはず。**

ほかの世代や政治家が思うより、今の働き盛りの負担は体力的にも精神的にもかなりのものだということを理解してほしいです。布団カバーひとつ、小さな子を連れてたどり着いた保育園で掛ける時の焦燥感や疲労感を取り払い、**バリバリ働いて経済を潤す方がずっと幸せになる人が増えます。**

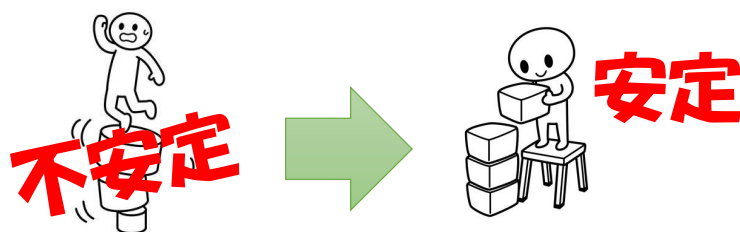
日本シングルマザー支援協会調べ 131名回答

●こどもの未来を創る親へのサポートとは？

生活安定を掴むまで寄り添う自立支援

「経済的にも、精神的にも、自立した生活を送りたい」

そもそも福祉とは、人の幸せです。
希望を叶える方法すら見つからない福祉は、本当の福祉と言えるのでしょうか？



ひとり親家庭の現状と雇用情勢等①

ひとり親家庭の平均年収

平均年間就労収入

母子家庭 236万円

父子家庭 496万円

母子家庭の**就労率**は厚労省令和3年「ひとり親支援について」によれば、**86.3%**である。

内**非正規雇用**は**43.8%**であり、母子家庭の約半数は非正規雇用である。

雇用形態別平均年収

令和3年全国ひとり親世帯等調査参照

母子家庭

正規雇用

344万円

パート・アルバイト

150万円

父子家庭

正規雇用

523万円

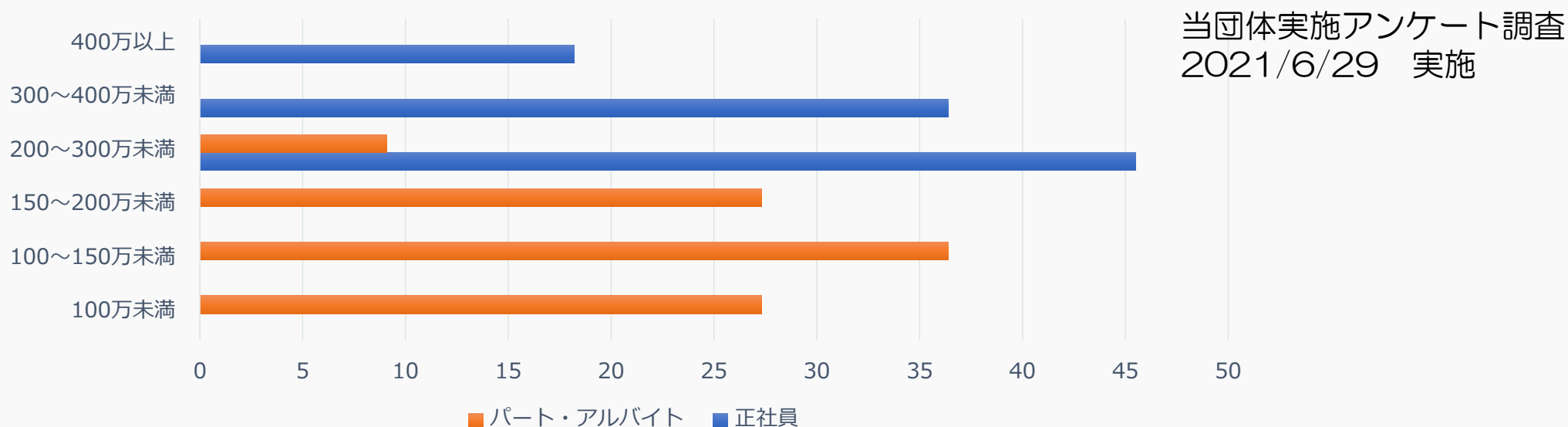
パート・アルバイト

192万円

ひとり親家庭の現状と雇用情勢等②

コロナ禍による、ひとり親家庭の収入について調査を実施。
アンケートでは、コロナ禍における雇用調整等の影響もあり、パート・アルバイト就業者と正規就業者の年収の違いが顕著に表れている。
厚生労働省の令和3年時点の調査でも、パート・アルバイト就業者と正規就業者の年収の違いは明確である。

コロナ禍以前からの課題が改めて浮き彫りになり、ひとり親世帯の雇用形態による貧困の課題は拡大したものである。 雇用形態別年収比較



本当に解決すべき課題とは？

こども支援

現在の支援

- クリスマスプレゼント■
- こども食堂■
- 無料塾■

教育 & 食

待ったなし



ひとり親支援

現在の支援

- 食料配布■
- 各種手当■
- 職業訓練■

依存を生む？
収入アップに結び付いている？

お金 & 食

時間が掛かる



現状

■シングルマザー 貧困から自立へ…を考える■

子どもの貧困とは、
親の貧困である



シングルマザーの低収入



子どもの貧困 の連鎖

子どもの預け先がなく、
収入を上げることができない

収入を上げることよりも、
所得制限内で納めようとする

結果、50代を過ぎて
生活力がない人が増えている

生活費=自分の収入+児童扶養手当+養育費や親からの援助

年収150万円 手当51万円 養育費5万円 総年収 261万円

例

手当開始時

母 35才 子ども 2才

結婚時 専業主婦

16年間

(の有効活用ができていない)

手当終了時

母 51才

子ども 18才

51才になり、手当と養育費が終わり、**年収150万円**となる。**老後が心配になり、仕事を探す**が年齢がネックになり見つからない。その後生活保護となるケースもある。また、**生活保護受給者の子どもは、生活保護を受給する確率が高い**という**貧困の連鎖**が生まれやすい

自立支援

■シングルマザー 貧困から自立へ…を考える■

貧困から
自立へ導く



シングルマザーの真の自立



子どもへの 自立の連鎖

10年後の自分の年齢と子どもの年齢を把握することで、今やるべきことを理解

安心して働ける環境を一緒に作る

児童扶養手当
5年以内で卒業

生活費=自分の収入 / 貯蓄=養育費、児童扶養手当 (受給中の場合)

例

手当開始時母 35才 子ども 2才 結婚時 専業主婦

<受給スタート時>
年収150万円 手当51万円
総年収 **201万円**

<受給4年経過時>
子供小学校入学 母39才
年収300万円 手当卒業
総年収 **300万円**

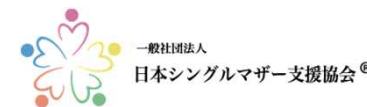
卒業



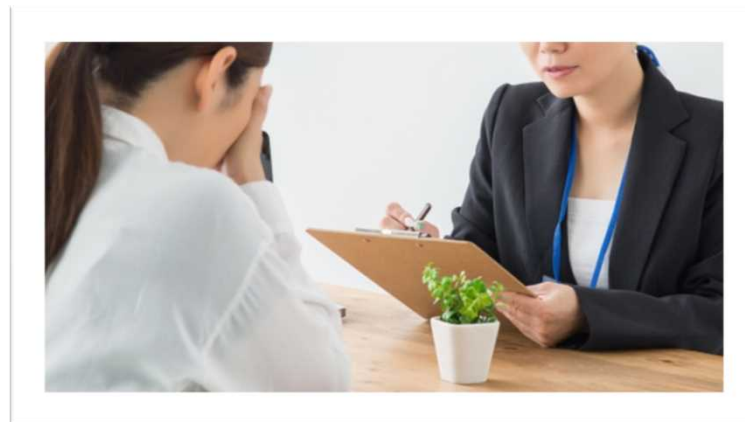
<受給10年経過時>
子供中学校入学 母45才
年収450万円 貯蓄あり
総年収 **450万円**

16年間の有効活用ができています

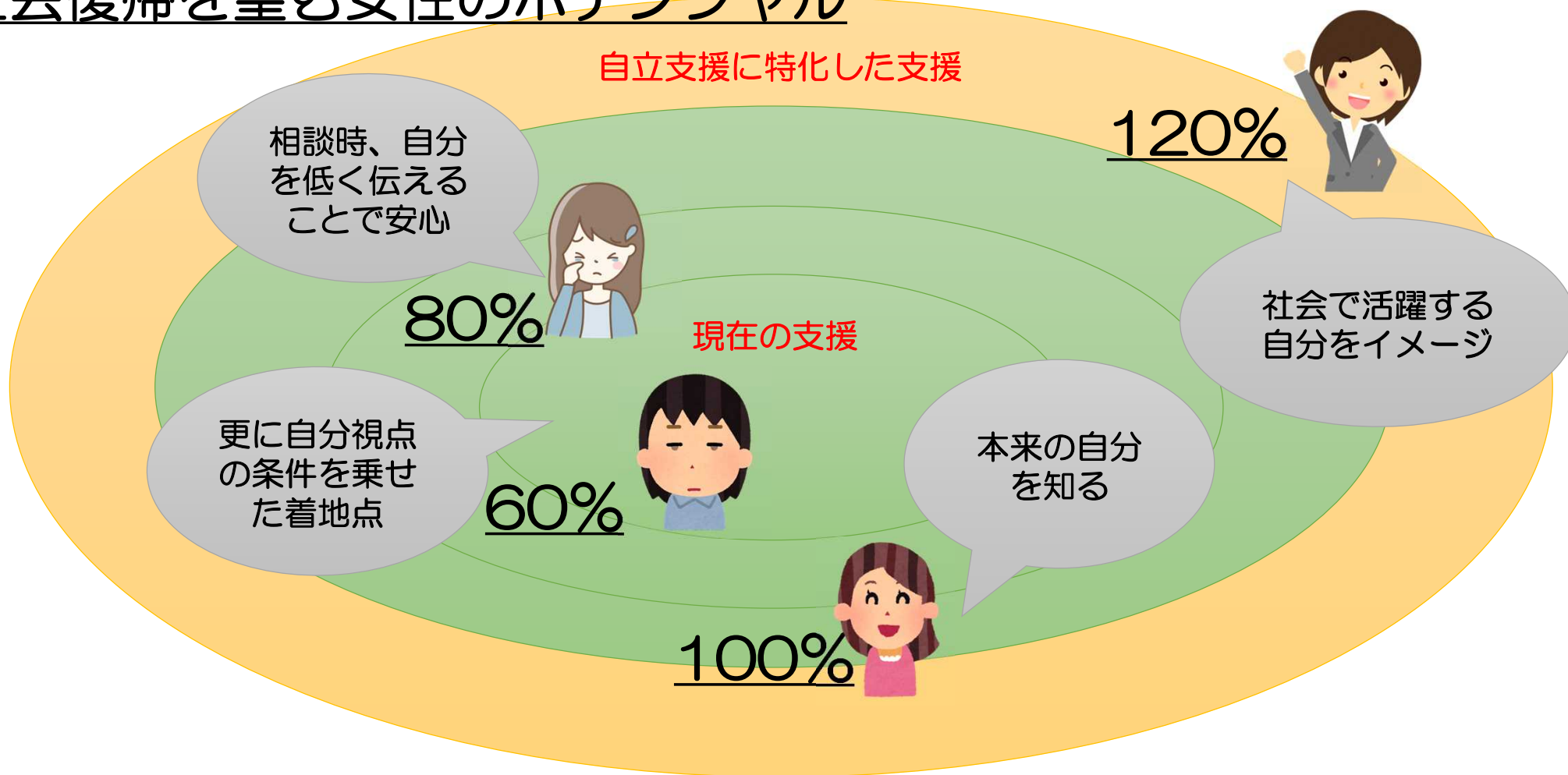
こどもの未来を創る親としてひとり親支援を考える



1. 相談業務の質向上



社会復帰を望む女性のポテンシャル



女性がメンタル不全に陥る要因とは？



■幸せを実感している時

■新社会人として出発

- 男女同じ教育を受ける
- 家庭では母親の影響を受ける

- 仕事と育児の選択を迫られる
- 多くの女性が子育てを取る
- 社会から離れることで視野が狭まってくる



- 視野が狭くなり不安が増える
- 夫のことを考える余裕もない

学生



就職



結婚



出産



子育て



離婚/死別

学生までは男女同じく教育を受けていくが、社会に出た後に女性は受けた教育をアウトプットする機会が奪われる。知識はあるが経験がない、という環境の中でモヤモヤが募り、社会から離れることで人間関係も限られていき、**視野が狭まり不安が増える**

日本シングルマザー支援協会の個別相談 解決へと導く相談により、前を向き挑戦ができる

ちょっとした事が起きたら
悩みになる前に

ワタシのミライ相談



ひとり親コンシェルジュ®が相談業務を行います。ひとり親コンシェルジュ®は、自分と真摯に向き合い、自分をとことん知ることで相談者の立場に立ってミライを考えることができます。相談者の数だけ答えがあります。その人のための答えを、一緒に考え、相談者が導き出せない視野まで拡げていくことで、不安を期待へ、諦めを可能性へと変化させていきます。

日本シングルマザー支援協会では、年間3000名を超える相談業務を行っております。

2. 生活が安定する就職支援



【課題】ひとり親家庭の生活の困窮 解決策は？

■相談の現場から見える生活を安定させている母子家庭の特徴■

- 世帯主(母親)が正規雇用且つ年収が300万円を超えている
- 世帯主(母親)が収支にあった家計管理ができている
- 養育費や児童扶養手当を教育費として貯蓄している

この条件が揃うと生活困窮の可能性は将来的にも低くなる。

母子家庭の生活安定への行動ステップ

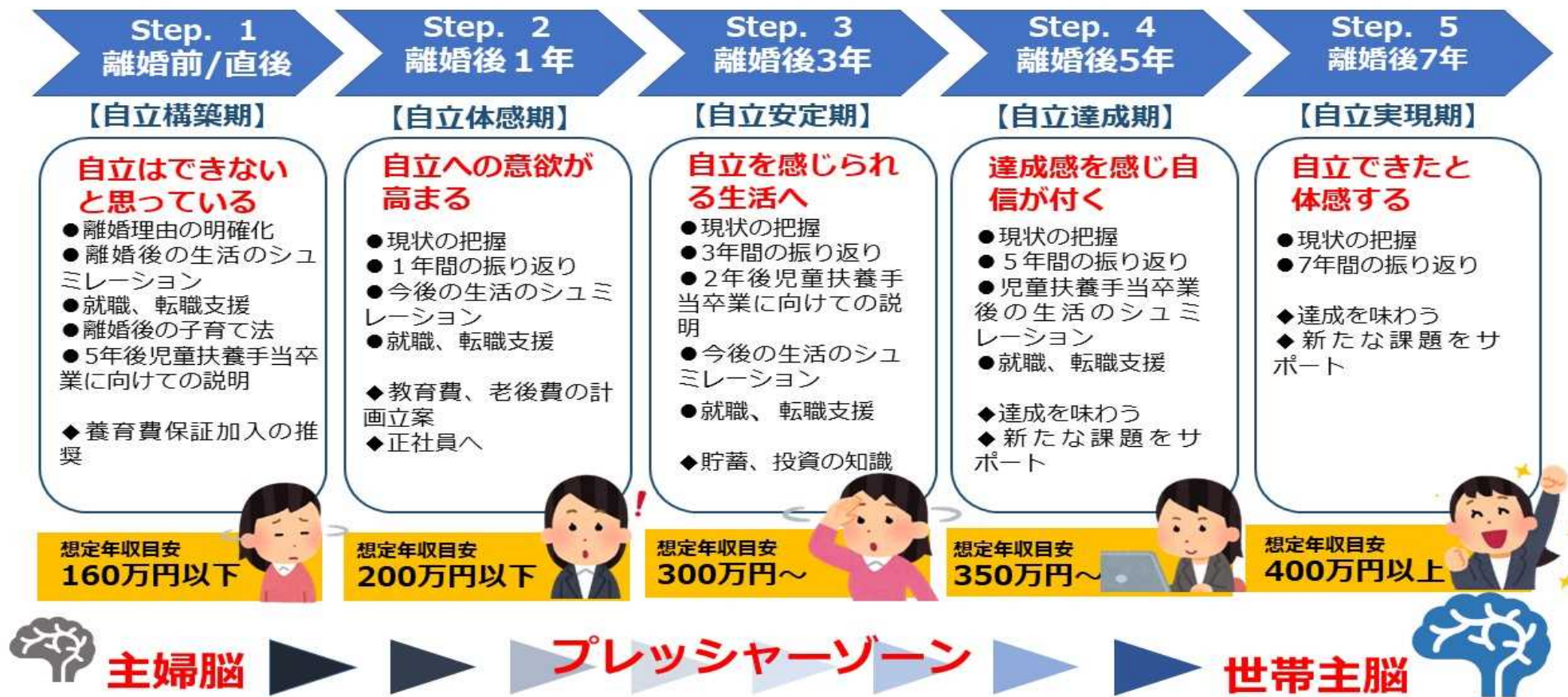
- 1、母子家庭の母の世帯主としての意識改革
- 2、家計費の把握
- 3、教育費の確保を考える
- 4、必要な収入が得られる仕事を探す

ミーズ
MES
就職プログラム

離婚後5年で自立を実現

【シングルマザー5年で自立プロジェクト】

～世帯主脳を持ったシングルマザーが社会を変える～



3. 官民連携の促進



- 成長より現状維持、ある意味事なかれ主義になっていませんか？

《シングルマザーの声から感じる疑問》

- 相談員の資質は？
- 生活が安定する仕事を紹介してるか？
- 能力開発？それって就職に直結しているのか？
- 養育費、支払者の気持ちも考えているのか？
- 児童扶養手当は子ども18歳で終了、その後の生活は？
- 相談しても解決しないから相談しない



今後の支援とは 自治体との事例

ひとり親家庭
キャリアチャレンジ
事業

これからの生活のために
「転職」を考えたことはありませんか？

本気で 半年以内に
収入UPをめざす方
募集

STEP1
まずはココから
10/28(土)
13:30~15:30
キックオフ交流会♪

STEP2
「ひとり親×仕事」サポートLINEで
転職活動

STEP3
半年以内に
収入UP!

「転職」を考えると、
たくさん不安になって
「私にはムリ」と思っていますか…？
「大丈夫！」
最初はみんな不安です。
一歩踏み出して、
可能性を広げましょう！

<交流会アドバイザー>
日本シングルマザー支援協会 江成道子さん

定員 10人程度 (定員を超えた場合は選考)

参加特典 お米5kg×2回
1回目 10/28(土)キックオフ交流会会場でお渡し
2回目 転職活動を継続または転職実現された方に2月頃ご自宅に配達

申込期間 10/19(木)9:00まで

選考結果 10/20(金)にメール連絡

キャリアチャレンジ
申込はこちらから→

キャリアチャレンジのの流れは裏面をご確認ください

モデル事業として、大阪府堺市が 取り組みを開始

- シングルマザーをカテゴリー分けし、カテゴリー毎にセミナー実施
- 継続的に、就職までをサポート
- 意欲を高める仕組みを導入

4、こどもの未来を創る親



MES就職プログラム in Jカレッジ

東京大学藤本研究所と共同研究をしている、MES就職プログラムを、2023年11月より、in Jカレッジ として、毎月10名を、収入アップを伴う就職支援サポートを開始。

「Jカレッジ」は、ブランクなどで社会への不安を持つ女性が、社会で活躍するための学びとなり、今後女性の社会復帰の際の学びのスタンダードになるように作成した。

収入に繋がらない学びを選択する傾向がある女性たち。学ぶことからスタートすることで安心するので、企業に貢献するための社会性を養う学びを提供していきます。



子どもがやりたい習い事を
させられるようになりました

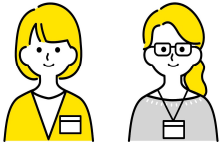
Jカレッジ!

私たちは
日本シングルマザー協会のJサポーターとして
シングルマザーを応援しています



step1

ワタシのミライ相談



ひとり親コンシェルジュ®
がお手伝いします。

①現状把握（話す）

・自分のことを話しながら、
本質の悩みに気付く

②課題を見つける（考える）

・ライフシミュレーション

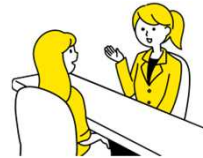
③行動計画（安心感）

・未来を創る行動の一步

欲しい未来を明確に描く

step2

就職プログラム



キャリアコンサルタントが
バックアップします。

①キャリアの掘りおこし

②応募書類作成支援

③会社見学&面接に同行

④LINEメンバー登録

⑤リテラシー講座(1科目)

社会性・人間力up
採用される人材へ

step3

伴走型定着支援

企業様と協力して
フォローアップします。



①内定～入社

・不安は一緒に解決

②リテラシー講座

・働くための必須スキルを網羅

③プレッシャーゾーンを
乗り越える

乗り越えた先の
未来を見てみよう！

メンタル曲線

経済力曲線

プレッシャーゾーン